

令和4年度（2022年度）「大学教員の企業現場研修」開催要項

公益社団法人 私立大学情報教育協会

本事業は大学教員の教育力向上を支援するため、賛助会員の協力を得て情報産業における事業戦略の動向と若手社員を交えた大学での学びに対する要望などの意見交換などを通じて、授業改善に向けた気づきを提供するためにオンライン(Zoom 使用)で実施します。

1. 開催日時

日 時： 2023年2月16日（木） 午前10時30分～午後5時35分

会 場： オンラインによるテレビ会議形式（Zoom 使用）で実施します。

2. プログラム概要

10:20	Zoom 接続開始
10:30	開会挨拶
10:35~12:05 【日本電気株式会社】 (休憩 13:00 迄)	(1) 社会価値を創造する NEC の事業概要の紹介 (15分) NEC は、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指しています。社会価値を創造する NEC の事業概要についてご紹介します。 (2) 最新技術動向の紹介 (30分) NEC では、教育機関へ提供してきた統合 ID 管理にマイナンバーカード連携機能を付加し、生涯の教育データを一元化し本人にとって最適なデータ活用を実現する仕組みを提供します。 (3) 若手社員との意見交換 (45分) 社会人になってから今までの経験を通じて、大学時代にやっておけば良かったと思うことや、大学時代に役立った経験・授業はどの様なことだったのか等について若手社員から発表し、意見交換を行います。
13:00~14:30 【株式会社内田洋行】 (切替 5分)	(1) 内田洋行の教育分野における DX 戦略の紹介 (15分) 教育分野の DX 戦略では、様々なシステムが連携・構成するデジタル・エコシステム構築が今後のキーワードになります。技術標準により連携した事例を紹介し、運用の最適化や学習データの分析・利活用を考えます。 (2) 内田洋行の人事戦略の紹介 (30分) 内田洋行の社員教育プログラムを通じて、「情報の価値化と知の協創をデザインする企業」を目指して取り組んでいる人材育成の考え方や仕組み、採用などを紹介し、意見交換を行います。 (3) 若手社員との意見交換 (45分) システムエンジニア及び営業若手社員から業務内容、必要なスキル、ICT 企業の最新の課題や実態、また大学時代に役立った経験や大学への要望などを発表し、その後参加者と意見交換を行います。
14:35~16:05 【株式会社 日立製作所】 (切替 5分)	(1) 日立の事業戦略・「Lumada」の紹介 (15分) 日立は OT・IT・プロダクトを結びつけて新たな価値を生み出す「Lumada」を推進しています。Lumada による社会課題解決・顧客企業の課題解決に向けた取り組みをご紹介します。 (2) 「Station Finder for Area Marketing」の紹介 (30分) 首都圏エリアの約 600 駅の Suica の利用状況に基づくレポート「駅カルテ」を利用したサービスで、Suica データによるリアルな人流の把握やマーケティング、まちづくりの検討などにお役立ていただける取り組みを紹介します。 (3) 若手社員との意見交換 (45分) 営業部門と SE 部門の入社 3~4 年目の若手社員から業務内容、必要なスキル、最新の課題や実態、大学時代に役立った経験や大学への要望などを発表し、意見交換を行います。
16:05~17:35 【富士通 Japan 株式会社】	(1) 最新の大学 DX (デジタル・トランスフォーメーション) の取り組み紹介 (15分) 富士通が開発したブロックチェーン技術でデータを安全・安心に流通させる基盤を利用し、大学を取り巻く様々なステークホルダー（企業や地域など）との連携を可能にする取り組みをご紹介します。 (2) パーパスドリブンを実現する新卒採用 (30分) 不確実な時代の中、富士通グループがどうあるべきなのかを定めたパーパスを実現するために、採用のあり方も変革が求められます。現時点での取り組みをご紹介します。 (3) 若手社員との意見交換 (45分) 入社 2 年目の若手社員 3 名から現在の仕事の内容や経験を踏まえ、大学時代に役立った授業や学ぶべきこと、大学に対する要望などについて発表し意見交換を行います。
17:35	閉会挨拶

3. 募集対象と募集定員

募集対象：本協会加盟私立大学の教員で、オンラインによるテレビ会議（Zoom 使用）に参加可能な方
募集定員：300 名（申し込みが定員を超えた場合、抽選等の方法で参加者を決定します）

4. 参加費

無料

5. 応募方法と申込書掲載 URL

申込書は、(<https://www.juce.jp/sangaku/genbakensyu/>) に掲載しますので、メール又は FAX で申込み下さい。

6. 応募締切

2023 年 2 月 6 日（月）

7. 参加者の確定

参加申込の確定は、2023 年 2 月 13 日（月）迄に「参加案内」と「Zoom の URL」をメールで連絡します。

8. 開催内容の撮影・録画について

プログラムの撮影・録画は、著作権・肖像権の観点から厳禁とします。

9. 本件連絡先

公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局 担当 森下

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F TEL:03-3261-2798 morishita@juce.jp

参考：2021 年度「大学教員の企業現場研修」参加者の声 (2022 年 2 月 15 日オンライン開催)

2022 年度の「大学教員の企業現場研修」には、43 大学から 58 名が参加し、アンケートでは 72% が「授業に役立つ」、80% が「他の教員にも紹介したい」と回答いただきました。

特徴的な意見を以下にご紹介します。

- ① 若手社員との意見交換で、講義より実験・研究やプレゼンテーション等が社会で役立っていることが分かった。理系・文系を問わずインターンシップのような現場を想定した教育が必要であることを感じた。
- ② 大学教育について、考え直す良い機会になった。中でも、情報産業の中で若手社員が実感している「文系の出身者の強み」はとても参考になり、学生に伝えていきたいと思った。
- ③ 大学で学んでおけば良かったこと、大学で学びたいことなどを卒業生（若手社員）から聞くことは興味深く参考になった。
- ④ 大学教育の出口となる企業がどのような人材を期待しているのかのイメージを持つことができた。大学がこのようなことを知る機会は貴重であり今後も継続してほしい。
- ⑤ 若手社員から PBL など多様な意見を知り、批判的に考える力を高める発表などが役立っていると聞き、課題解決を訓練する PBL 教育の有用さと授業改善の必要性を強く感じた。
- ⑥ 専門知識を教えるだけでなく、社会で生き抜く力を身に付けさせることが重要。何を教え、どんな学生を育てるのか明確なビジョンを持って学生指導にあたるようシラバスの見直しが必要と感じた。
- ⑦ 若手社員の多くが社会に出て、ICT スキルの必要性を挙げていたが、情報基礎 1 科目だけでなく 4 年間の全ての学びの中で ICT を活用した問題解決やアウトプットを戦略的に繰り返し経験させることが必要と感じた。まずは教員の意識改革・授業改善に取り組む必要があると思う。
- ⑧ 企業が求める「社会課題の解決に強い問題意識を持った人材」のイメージを持つことができた。大学がこのようなことを知る機会は貴重であり今後も継続してほしい。

